

結果の要約

1 職業

富山県の15歳以上就業者数(578,051人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が206,542人(15歳以上就業者数の35.7%)と最も多く、次いで「事務従事者」が102,726人(同17.8%)、「販売従事者」が75,655人(同13.1%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が5,190人(11.1%)増、「保安職業従事者」が407人(6.4%)増などとなっている。一方、「管理的職業従事者」が3,338人(19.4%)減、「運輸・通信従事者」が1,778人(8.7%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「生産・運輸関係職業」が39.0%と最も高く、次いで「事務・技術・管理関係職業」が33.0%、「販売・サービス関係職業」が23.2%、「農林漁業関係職業」が4.2%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ0.9ポイント、0.2ポイント上昇しているのに対し、「事務・技術・管理関係職業」、「生産・運輸関係職業」がそれぞれ0.8ポイント、0.7ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業」
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.2時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が45.9時間と最も長く、次いで「管理的職業従事者」が44.8時間、「販売従事者」が43.6時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「サービス職業従事者」が2.0時間減、「保安職業従事者」が1.6時間減となっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が154,274組(夫婦数290,573組の53.1%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が68,063組(同23.4%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が23,658組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の15.3%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業」、妻が「事務従事者」である夫婦が17,196組(同11.1%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は106,505世帯(住宅に住む一般世帯363,763世帯の29.3%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は257,258世帯(同70.7%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が104,159世帯(同28.6%)、「女性のみ」の世帯が38,536世帯(同10.6%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が22,535世帯(同6.2%)となっている。

図1 富山県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

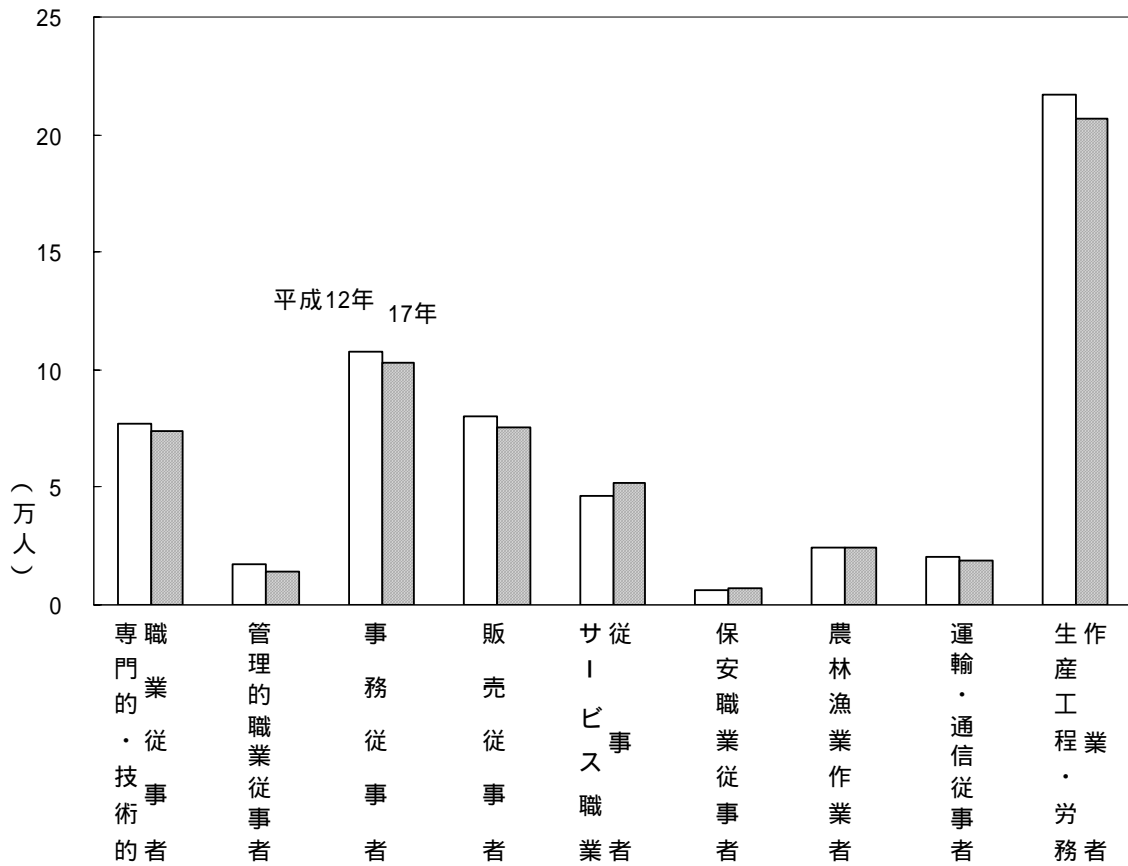


図2 富山県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

